

「桜山」山登りレポート

R . B

今回初めて山仲間アルプの人たちと一緒に山登りをしました。障害者の方と一緒に山登りをするのはもちろん初めてでしたが、とても楽しく、とても良い経験をすることができました。

本庄駅で皆集合し、途中まではバスとタクシーで行きました。山頂までは少し大回りして30分程度。あっさり登り終わってしまって少し物足りなさがありました。今回の山登りでは、弱視の方が一人いて、私たち立教生5人が交代でサポートしました。私はもっとサポートは大変なのかと思っていましたが、すごく勤がいい方で、「階段登ります」程度の簡単な指示だけであとはいすいすい歩けました。ペースもゆっくりだと思っていましたが、話しながらさくさく登って行くことができました。引っ張る力も全然感じず、リュックに手を置いているだけという感じで、全く負担を感じませんでした。この方は本当にすごいと思いました。私だったらすごく引っ張ってしまうだろうし、普通のペースでは歩けないと思います。ましてや平坦な道でも怖いのに、山道ときたら大変なものだと思います。運動のためにも定期的に山登りをしているそうですが、山仲間アルプのような団体があって本当によかったと思うのと同時に、本当に素晴らしい活動を行っている団体だと改めて思いました。さすがに一人で登ることはできないし、やはり障害者が山登りをするのは健常者に比べるとどうしても難しい部分があると思います。しかし私たち健常者が少しサポートをするだけで一緒に登ることができて、私たちサポートする側も楽しめるので、すごく良いと思いました。簡単なことのようにですが、なかなかこのような活動を行っている団体はないと思います。しかし障害があっても山登りやその他にもやりたいことがあるだろうし、私たちが手助けをすることでできることならば、喜んでほしいと思うし、そうすべきだと思います。障害者だからできないということはないのだと実感しました。

山頂に着いて写真を撮り、昼食をとり、少し休んでから下りました。帰りはタクシーで歩いてきたところも下ろうということで、いかにも山道らしい道を下って行きました。登りが楽だった分下りは一層きつく感じましたが、これでこそ山登りという感じが味わえました。途中何度か滑ってしまって、これでサポートをしていたら大変だなと思いました。「下りの方がサポートするのは大変だよ」と参加者の方が言っていたように、本当に下りは登りよりも注意深く、慎重にサポートしなければならないと感じました。

歩きながらAさんや他の参加者の方が、色々な植物の説明をしてくれました。普段は見られないような植物がたくさんあり、勉強になりました。桜山は冬桜が有名ということで、冬桜と紅葉がすごく綺麗でとても良い時期に来られたと思います。天気が良くなかったのが残念でしたが、それでも満足できるような景色で、都会では見られない景色とおいしい空気に癒されました。

参加者の皆さんとても元気があって、話をしながらわいわい山登りをしていて、観光として山登りに来たという感じですごく楽しめました。その中でも学ぶことがたくさんあって、大変有意義なものでした。山登りは中学振りでしたが、山登りの良さを実感し、それを障害者の方とも共有できるというのは素晴らしいことだと思いました。今回、この山登りに参加して良かったです。